

楽しく、体を
動かしましょう!

スポーツ教室

⑧初心者スポーツ教室 少林寺拳法

対象 幼児・小学生
日時 4/10～12/25の毎週木曜
16時30分～17時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 (公財)石狩市スポーツ協会インストラクター、石狩樽川スポーツ少年団指導員
定員 20人(申込順)

⑨初心者スポーツ教室 サッカー

対象 ①幼児(年中・年長)
②小学1・2年生
日時 4/2～R8/3/25の毎週水曜
①14時30分～15時30分
②16時～17時
場所 スポーツ広場(花畔337・3)、
サン・ビレッジいしかり(新港中央1・701)
講師 石狩サッカー協会
持ち物 サッカーシューズ、動きやすい服装
定員 ①20人 ②30人
費用 月1,000円、保険料800円



④フィットネス教室

有酸素運動で汗を流し、心身をリフレッシュします。
対象 市内に在住・通勤する方
日時 4/10～R8/3/19の毎週木曜
19時30分～20時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 フィットネスインストラクター
大嶋春香氏
持ち物 動きやすい服装、室内用運動靴、飲み物、タオル
定員 35人(申込順)
費用 年12,000円

⑤ピラティス教室

対象 市内に在住・通勤する方
日時 ①4/10～R8/3/19の毎週木曜
10時～11時 ②4/8～R8/3/24の
毎週火曜18時30分～19時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 ①岸本亜弥子氏 ②工藤綾氏
持ち物 動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 各100人 **費用** 年12,000円

⑥ヨガ教室～ハタ・ヨガ～

対象 市内に在住・通勤する方
日時 4/8～R8/3/24の毎週火曜
①10時～11時
②19時45分～20時45分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 ①岸本亜弥子氏 ②工藤綾氏
持ち物 動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 各100人(申込順)
費用 年12,000円

⑦初心者スポーツ教室 HIP HOPダンス教室

対象 市内に在住・通勤・通学する小学3年生以上の方(大人も可)
日時 4/9～R8/3/18の毎週水曜
16時30分～17時30分
場所 サン・ビレッジいしかり(新港中央1・701)
持ち物 動きやすい服装、上靴、飲み物、タオル
定員 20人(申込順)

④～⑨共通事項

申込・問合せ (公財)石狩市スポーツ協会
☎64・1220 FAX 64・1222
✉i-sports@crocus.ocn.ne.jp



▲申込



①キッズスポーツクラブ

内容 体づくりやボールを使った運動
対象 市内在住の幼児(年長)
日時 4/8～R8/3/17の毎週火曜
15時45分～16時30分
※7月と8月、祝日は休み
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
定員 30人(申込順)
費用 年10,000円
申込期限 25(火)

②ジュニアスポーツクラブ

内容 体づくりやボールを使った運動
対象 市内の小学1・2年生
日時 4/8～R8/3/17の毎週火曜
16時45分～17時30分
※7月と8月、祝日は休み
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
定員 30人(申込順)
費用 年10,000円
申込期限 25(火)

③シニアスポーツクラブ(前期)

内容 筋力トレーニングや軽スポーツ、有酸素運動など
対象 市内に在住・通勤する60歳以上の方
日時 4/9～11/26の毎週水曜
10時～11時 ※全31回
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 フィットネスインストラクター
大嶋春香氏
定員 80人(申込順)
費用 8,000円
申込期限 26(水)

①～③共通事項

持ち物 動きやすい服装、飲み物
申込・問合せ
(公財)石狩市
スポーツ協会
☎64・1220



▲申込

くだ たま
管玉

—海を越えた弥生文化の装身具—

紅葉山33号遺跡出土の細形管玉（写真1）は、続縄文文化前半期（紀元前4世紀～紀元1世紀ごろ）の墓から出土したものです。円筒形をした石製ビーズの種で、特に石製の管玉は弥生時代から古墳時代を代表する装身具として知られています。

石の種類をみると緑色の碧玉質と赤色の鉄石英があり、出土状況からみると2色をつなげたネックレスのような装身具であったとみられます。1982年の発掘調査の記録によると、細形管玉と一緒に、白色の環状製品1点が、もうい状態で土の中から確認されました。それは、ペンダントのように付いていた可能性があります。

細形管玉の大きさは、長さ9mm、18mmほど、小口面の外径は3mmに満たないものがほとんどで、さらに内径1mmほどのひもを通す孔を管状に開けています（写真2）。貫通する孔は精巧な技術で作られ、表面は磨いて仕上げています。これらは、当時の石狩で製作されたものではなく、本州の弥生文化圏から持ち込まれた貴重品で、その石材は北陸（新潟県佐渡島の猿八産か）に由来する可能性が指摘されています。本

州で確認されている弥生時代の管玉製作遺跡では、管玉の製作途中のものをはじめ、研磨するための砥石や穿孔用とみられる石針や鉄針なども出土しています。紅葉山33号遺跡の細形管玉を見ると、きれいに仕上げられているため製作時の加工痕が肉眼ではほとんど分かりませんが、小口面から石針を回転させて孔を開けたものと推測されます。

約二千年前の日本海沿岸地域の交易の中で、北陸地方から東北地方を経て北海道に持ち込まれた管玉のかわりに、石狩から本州へと運ばれていた物資とは何でしょう

か。また、物流を通じた人々の往来は双方にどのような影響を与えたのでしょうか。その歴史をひもとく手がかりが、日本海に面する石狩の遺跡にも秘められていると言えるでしょう。

（荒山千恵）



写真1 紅葉山33号遺跡の細形管玉／
続縄文文化
（出土した21点のうちの12点を
連ねたもの）



写真2 細形管玉の大きさを
つまようじと比較
（手前の細形管玉：現存
長さ18mm・外径2.8mm）



石狩市学芸員
荒山千恵 Chie Arayama

専門分野は考古学。遺跡の発掘調査をはじめ、出土した木の道具、音の考古学などの研究を行う。